

## 平成24年3月期 第2四半期決算短信[日本基準](連結)

平成23年11月4日

上場会社名 常和ホールディングス株式会社

上場取引所 東

URL <a href="http://www.jowa-hd.co.jp">http://www.jowa-hd.co.jp</a> コード番号 3258

(氏名) 小崎 哲資 (氏名) 山本 正登

代表者 (役職名)代表取締役社長問合せ先責任者(役職名)専務取締役兼専務執行役員

TEL 03-3243-1913

平成23年12月1日 四半期報告書提出予定日 平成23年11月9日 配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

: 有 (機関投資家・アナリスト向け) 四半期決算説明会開催の有無

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日~平成23年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	6,147	△5.8	1,968	△13.3	1,280	△13.3	672	△69.1
23年3月期第2四半期	6,525	4.0	2,269	△4.6	1,476	△3.4	2,171	142.0

(注)包括利益 24年3月期第2四半期 462百万円 (△74.4%) 23年3月期第2四半期 1,805百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期 純利益
	円銭	円 銭
24年3月期第2四半期	62.76	_
23年3月期第2四半期	202.79	_

#### (2) 連結財政状態

(=) (=) (1) (1) (1) (1)			
	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第2四半期	144,018	17,773	12.3
23年3月期	136,038	17,632	13.0

(参考) 自己資本

24年3月期第2四半期 17,773百万円 23年3月期 17,632百万円

## 2. 配当の状況

		年間配当金								
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計					
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円銭					
23年3月期	_	30.00	_	30.00	60.00					
24年3月期	_	30.00								
24年3月期(予想)			_	30.00	60.00					

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

#### 3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日~平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期 純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	13,000	△3.3	4,300	2.5	2,600	2.5	1,500	△44.5	140.10

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 4. その他

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 ② ①以外の会計方針の変更 : 無 : 無 ③ 会計上の見積りの変更 ④ 修正再表示 : 無

#### (4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期2Q	10,707,000 株	23年3月期	10,707,000 株
② 期末自己株式数	24年3月期2Q	87 株	23年3月期	73 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期2Q	10,706,919 株	23年3月期2Q	10,707,000 株

#### ※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四 半期財務諸表のレビュー手続は実施中であります。

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、発表日現在において入手可能な情報に基づいた分析・判断によるものであり、実際の業績につきましては、経営環境の変化等により大きく異なる結果となる可能性があります。業績予想に関する事項は、添付資料3ページ「1.(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

当社は、当第2四半期決算短信開示後すみやかに、当第2四半期連結決算の概要についての補足説明資料を当社ホームページに掲載する予定です。

当社は、以下のとおり第2四半期決算説明会を開催する予定です。この説明会で配布した資料、動画については、開催後すみやかに当社ホームページに掲載 する予定です。 平成23年11月15日(火) 第2四半期決算説明会(機関投資家・アナリスト向け)

## 〇添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報3
2. サマリー情報(その他)に関する事項3
3. 四半期連結財務諸表4
(1)四半期連結貸借対照表 ······4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書6
四半期連結損益計算書6
四半期連結包括利益計算書 ······7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書8
(4) 継続企業の前提に関する注記9
(5) セグメント情報等9
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
(7) 重要な後発事象1

#### 1. 当四半期決算に関する定性的情報

#### (1)連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間(平成23年4月1日~平成23年9月30日、以下「当第2四半期」という。)の 我が国経済は、東日本大震災の影響による急激な落ち込みの後、生産活動・消費活動の持ち直しなど、一 部で回復の兆しも見られるものの、電力供給不安や欧州域内各国など海外経済の悪化懸念や急激な円高の 進行など、引き続き不安定な状況で推移しました。

オフィスビルマーケットにおきましては、空室率がほぼ大底圏に入り、賃料水準の下落幅も縮小傾向に ありましたが、企業業績の低下懸念により、需要は弱含みで推移することが予想され、当面、改善は期待 しにくい状況が続くものと認識しております。

ホテル業界におきましては、東日本大震災の影響を受け、ビジネス、観光ともに需要が一時的に減少いたしました。足許では、客室稼働率が回復してきているものの、本格的な市況回復には、なお時間を要するものと思われます。

ゴルフ場業界におきましては、東日本大震災の影響を受け、来場者数が一時的に減少いたしました。足許では、緩やかに回復してきているものの、本格的な回復には、なお時間を要するものと思われます。

以上のような事業環境の中、不動産事業、ホテル事業、ゴルフ事業を柱とする当社グループは、持株会社を中心とした透明性が高く、効率的経営が可能な事業体制の下、安定した経営基盤を構築すべく、お客さまをはじめステークホルダーの皆さまの視点に立った事業推進を行い、お客さまニーズへの対応とコスト削減により、ベース収益の嵩上げに注力してまいりました。

当第2四半期の連結業績につきましては、売上高6,147百万円(前年同四半期6,525百万円 前年同四半期比5.8%減)となり、営業利益は1,968百万円(前年同四半期2,269百万円 前年同四半期比13.3%減)、経常利益は1,280百万円(前年同四半期1,476百万円 前年同四半期比13.3%減)を計上し、四半期純利益は672百万円(前年同四半期2,171百万円 前年同四半期比69.1%減)となりました。

セグメントごとの業績は、次のとおりであります。

平成23年10月1日付の当社グループ子会社再編(主要3事業ごとに1社の子会社を置く体制への集約)を踏まえ、当社グループの事業戦略に則り、一層適切かつ有用な情報を提供するために、報告セグメントを変更しており、当第2四半期と前年同四半期との比較・分析は、今次変更の影響を含めて記載しております。

## 不動産事業

当第2四半期は、前期に実施した物件売却による賃料の剥落、一部テナントの賃料低下等により、売上高3,874百万円(前年同四半期4,260百万円 前年同四半期比9.1%減)となり、コスト削減等に努めるも、営業利益1,980百万円(前年同四半期2,336百万円 前年同四半期比15.2%減)となりました。

## ②ホテル事業

当第2四半期は、東日本大震災の影響を受け、事業環境が厳しい中、売上高は2,011百万円(前年同四半期2,039百万円 前年同四半期比1.4%減)となり、前年同四半期のホテルユニゾ渋谷の新規開業費用の剥落やコスト削減により、営業利益は519百万円(前年同四半期418百万円 前年同四半期比24.2%増)となりました。

## ③ゴルフ事業

当第2四半期は、東日本大震災の影響により、来場者数が減少し、売上高は327百万円(前年同四半期370百万円 前年同四半期比11.7%減)となり、コスト削減等に努めるも、営業利益は29百万円(前年同四半期39百万円 前年同四半期比24.5%減)となりました。

#### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期末の資産合計は、144,018百万円となり、前期末比7,980百万円の増加となりました。これは、オフィスビル取得等により有形固定資産が前期末比7,020百万円増加、投資有価証券の取得等により投資その他の資産が前期末比496百万円増加、現金及び預金が前期末比88百万円増加したこと等によるものです。

当第2四半期末の負債合計は、126,244百万円となり、前期末比7,838百万円の増加となりました。なお、当第2四半期末の借入金残高は前期末比8,116百万円増加いたしました。

当第2四半期末の純資産合計は、17,773百万円となり、前期末比141百万円の増加となりました。これは、利益剰余金が350百万円増加、その他有価証券評価差額金が209百万円減少したこと等によるものです。

## (3) 連結業績予想に関する定性的情報

(平成24年3月期の業績見通し)

通期の連結業績見通しは、平成23年5月10日公表のとおりで、変更はございません。

(当第2四半期末の剰余金の配当(中間配当))

当第2四半期末の剰余金の配当(中間配当)は、既公表の利益配分に関する基本方針ならびに当第2四半期の業績及び通期業績見通しを踏まえ、平成23年5月10日に予想として公表しましたとおり、1株当たり30円といたしました。なお、期末配当は、基本方針に基づき、1株当たり30円を計画しております。

## 2. サマリー情報(その他)に関する事項

該当事項はありません。

## 3. 四半期連結財務諸表 (1) 四半期連結貸借対照表

(1) 自于对定州县旧内派公		(単位:千円)
	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5, 039, 207	5, 127, 559
受取手形及び売掛金	2, 356, 859	2, 561, 234
商品及び製品	2, 192	1,873
販売用不動産	758, 329	758, 329
原材料及び貯蔵品	4, 327	6, 933
繰延税金資産	129, 188	100, 015
その他	203, 186	404, 265
貸倒引当金	△298	△303
流動資産合計	8, 492, 992	8, 959, 907
固定資産		
有形固定資産		
信託建物及び信託構築物(純額)	27, 710, 603	28, 558, 914
土地	5, 191, 894	5, 167, 962
コース勘定	1, 489, 299	1, 489, 299
信託土地	73, 993, 667	80, 300, 487
その他(純額)	1, 639, 375	1, 528, 640
有形固定資産合計	110, 024, 841	117, 045, 304
無形固定資産	4, 091, 688	4, 088, 254
投資その他の資産		
投資有価証券	12, 560, 508	13, 024, 421
繰延税金資産	10, 905	14, 911
その他	888, 753	900, 960
貸倒引当金	△31, 600	△15, 600
投資その他の資産合計	13, 428, 566	13, 924, 694
固定資産合計	127, 545, 096	135, 058, 253
資産合計	136, 038, 088	144, 018, 161

(単位:千円)

		(単位:十円)
	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1, 392	1,825
短期借入金	15, 100, 000	19, 600, 000
1年内返済予定の長期借入金	12, 699, 800	36, 299, 492
未払法人税等	918, 276	568, 710
賞与引当金	63, 334	62, 959
ポイント引当金	9, 208	9, 208
その他	1, 820, 088	1, 836, 608
流動負債合計	30, 612, 100	58, 378, 804
固定負債		
長期借入金	78, 223, 000	58, 239, 676
受入敷金保証金	7, 209, 330	7, 370, 832
繰延税金負債	1, 229, 541	1, 108, 589
退職給付引当金	694, 656	708, 611
役員退職慰労引当金	236, 010	267, 419
その他	201, 213	170, 323
固定負債合計	87, 793, 751	67, 865, 451
負債合計	118, 405, 852	126, 244, 256
純資産の部		
株主資本		
資本金	3, 350, 828	3, 350, 828
資本剰余金	3, 266, 234	3, 266, 234
利益剰余金	9, 939, 892	10, 290, 691
自己株式	△84	△101
株主資本合計	16, 556, 871	16, 907, 652
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1, 075, 365	866, 252
その他の包括利益累計額合計	1, 075, 365	866, 252
純資産合計	17, 632, 236	17, 773, 904
負債純資産合計	136, 038, 088	144, 018, 161

# (2)四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書四半期連結損益計算書第2四半期連結累計期間

(単位:千円) 当第2四半期連結累計期間 前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日) (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日) 売上高 6, 525, 946 6, 147, 417 3, 403, 902 3, 206, 659 売上原価 3, 122, 044 2, 940, 758 売上総利益 販売費及び一般管理費 販売手数料 4, 355 5,007 広告宣伝費 10, 346 14, 174 役員報酬 181, 480 215, 218 給料及び手当 242, 401 263, 500 賞与引当金繰入額 20,403 25, 280 退職給付費用 15,610 19,409 役員退職慰労引当金繰入額 37, 295 51,627 340, 264 378, 434 その他 販売費及び一般管理費合計 852, 156 972,652 営業利益 2, 269, 887 1,968,106 営業外収益 受取利息 1, 172 586 受取配当金 171, 254 169, 155 47, 397 その他 34, 481 営業外収益合計 219,823 204, 223 営業外費用 支払利息 1,004,317 872, 795 その他 9,338 19,093 891,889 営業外費用合計 1,013,656 1, 476, 055 1, 280, 440 経常利益 特別利益 固定資產売却益 2, 250, 119 29, 303 特別利益合計 2, 250, 119 29, 303 特別損失 固定資産除却損 2,058 1,551 投資有価証券評価損 37, 464 特別損失合計 2,058 39,015 税金等調整前四半期純利益 3, 724, 116 1, 270, 727 法人税、住民税及び事業税 987,078 578, 882 法人税等調整額 565, 771 19,837 法人税等合計 1, 552, 850 598, 720 672,006 少数株主損益調整前四半期純利益 2, 171, 266 少数株主利益 四半期純利益 2, 171, 266 672,006

## 四半期連結包括利益計算書 第2四半期連結累計期間

		(単位:千円)_
	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	2, 171, 266	672,006
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△407, 884	△209, 112
繰延ヘッジ損益	41,698	<u> </u>
その他の包括利益合計	△366, 185	△209, 112
四半期包括利益	1, 805, 080	462, 893
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1, 805, 080	462, 893
少数株主に係る四半期包括利益	_	_

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

		(単位:千円)
	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	3, 724, 116	1, 270, 727
減価償却費	860, 211	803, 742
賞与引当金の増減額(△は減少)	3, 226	△374
退職給付引当金の増減額(△は減少)	$\triangle 21,775$	13, 954
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△41, 851	31, 408
貸倒引当金の増減額(△は減少)	0	△15, 994
受取利息及び受取配当金	$\triangle 172, 426$	△169, 742
支払利息	1, 004, 317	872, 795
有形固定資産売却損益(△は益)	$\triangle 2, 250, 119$	△29, 303
有形固定資産除却損	2, 058	1, 551
投資有価証券評価損益(△は益)	_	37, 464
売上債権の増減額(△は増加)	15, 528	△192, 280
たな卸資産の増減額(△は増加)	△5, 508	△2, 286
匿名組合出資金の増減額(△は増加)	△33, 576	486, 400
仕入債務の増減額(△は減少)	13	432
未払費用の増減額(△は減少)	△34, 621	△367, 001
その他	△213, 257	515, 215
小計	2, 836, 335	3, 256, 709
利息及び配当金の受取額	172, 426	169, 867
利息の支払額	$\triangle 1,081,003$	△854, 057
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	168, 158	$\triangle 1, 143, 423$
営業活動によるキャッシュ・フロー	2, 095, 917	1, 429, 095
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△300, 000	_
定期預金の払戻による収入	_	300,000
有形固定資産の取得による支出	△8, 598, 893	△7, 839, 000
有形固定資産の売却による収入	8, 058, 500	_
土地収用による収入	_	52, 344
無形固定資産の取得による支出	△250	△7, 660
投資有価証券の取得による支出	_	$\triangle 1, 312, 513$
投資有価証券の売却による収入	81	_
貸付金の回収による収入	1, 390	1, 510
貸付けによる支出	△2, 445	△905
その他	△361	△160
投資活動によるキャッシュ・フロー	△841, 977	△8, 806, 384
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	_	4, 500, 000
長期借入れによる収入	17, 810, 000	6,000,000
長期借入金の返済による支出	$\triangle 22,899,300$	△2, 383, 632
配当金の支払額	△213, 527	△320, 592
自己株式の取得による支出	<u> </u>	△17
リース債務の返済による支出	△25, 292	△30, 116
財務活動によるキャッシュ・フロー	△5, 328, 119	7, 765, 641
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△4, 074, 179	388, 352
現金及び現金同等物の期首残高	9, 972, 927	4, 739, 207
現金及び現金同等物の四半期末残高	5, 898, 747	5, 127, 559

## (4)継続企業の前提に関する注記

当第2四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日) 該当事項はありません。

## (5) セグメント情報等

【セグメント情報】

- I 前第2四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)
  - 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

報告セグメント						その他	調整額	四半期連結 損益計算書		
	オフィス ビル事業	ホテル 事業	ゴルフ 事業	住宅事業	エクイ ティ投 資事業	計	(注) 1	合計	(注) 2	計上額 (注) 3
売上高										
外部顧客への売上高	4, 032, 455	1, 946, 810	370, 304	72, 380	103, 996	6, 525, 946	_	6, 525, 946	_	6, 525, 946
セグメント間の内部 売上高又は振替高	143, 137	1, 526	240	_	_	144, 903	99, 924	244, 827	△244, 827	_
計	4, 175, 592	1, 948, 336	370, 544	72, 380	103, 996	6, 670, 850	99, 924	6, 770, 774	△244, 827	6, 525, 946
セグメント利益	2, 299, 784	326, 823	39, 126	24, 182	103, 765	2, 793, 682	22, 856	2, 816, 539	△546, 651	2, 269, 887

- (注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、グループファイナンス業務(貸金業)を含んでおります。
  - 2 セグメント利益の調整額 $\triangle$ 546,651千円には、セグメント間取引消去3,985千円、及び各報告セグメントに配分していない全社費用 $\triangle$ 550,637千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
  - 3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整しております。
- Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
  - 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 千円)

							(手)	<u>似:干円/</u>
	報告セグメント				その他	合計	調整額	四半期連結 損益計算書
	不動産事業	ホテル事業	ゴルフ事業	計	(注)1	D B1	(注) 2	計上額 (注) 3
売上高								
外部顧客への売上高	3, 812, 530	2, 009, 309	325, 577	6, 147, 417	_	6, 147, 417	_	6, 147, 417
セグメント間の内部 売上高又は振替高	61, 817	2, 523	1, 703	66, 044	_	66, 044	△66, 044	_
計	3, 874, 348	2, 011, 832	327, 281	6, 213, 462	_	6, 213, 462	△66, 044	6, 147, 417
セグメント利益	1, 980, 223	519, 583	29, 552	2, 529, 359	_	2, 529, 359	△561, 253	1, 968, 106

- (注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであります。
  - 2 セグメント利益の調整額 $\triangle$ 561,253千円には、セグメント間取引消去118,406千円、及び各報告セグメントに配分していない全社費用 $\triangle$ 679,660千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
  - 3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整しております。

## 2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当社グループの報告セグメントは、第1四半期連結会計期間より変更しております。当社は平成23年4月に当社内の組織再編で当社に事業別の本部を設置し、執行役員制度を導入しました。さらに平成23年10月1日付をもって子会社再編を行い、事業毎に子会社を集約しました。

これは、各事業の推進体制をさらに強化するとともに、経営管理を一層効率化し、当社と事業別子会社との緊密な連携のもと、権限・責任の明確化並びにグループの経営判断の一層の迅速化をはかり、一層の収益、企業価値の向上を目指すものであります。

これを踏まえ、当社グループの報告セグメントにつきまして、「不動産事業」「ホテル事業」「ゴルフ事業」の3つのセグメントに集約するもので、主な変更点は以下のとおりです。

従来の「オフィスビル事業」(オフィスビル等の賃貸、運営及び不動産仲介等)を「不動産事業」といたしました。「不動産事業」は、上記オフィスビル事業の他、「住宅の賃貸、管理、仲介及び宅地分譲等」も包含するものとし、従来の「住宅事業」も含むように変更しております。

また、従来の「エクイティ投資事業」のうち、オフィスビルファンドへのエクイティ投資による運用 分は「不動産事業」に、ホテルファンドへのエクイティ投資による運用分は「ホテル事業」に含めて表 示するように変更しております。

前第2四半期連結累計期間につきまして、今次変更後の区分方法により作成した報告セグメントごと の売上高及び利益の金額に関する情報は以下のとおりです。

前2第四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)

(単位:千円)

	報告セグメント							四半期連結
	不動産 事業	ホテル 事業	ゴルフ 事業	計	その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	損益計算書 計上額 (注)3
売上高								
外部顧客への売上高	4, 117, 225	2, 038, 416	370, 304	6, 525, 946	_	6, 525, 946	_	6, 525, 946
セグメント間の内部 売上高又は振替高	143, 137	1, 526	240	144, 903	99, 924	244, 827	△244, 827	_
計	4, 260, 362	2, 039, 942	370, 544	6, 670, 850	99, 924	6, 770, 774	△244, 827	6, 525, 946
セグメント利益	2, 336, 312	418, 243	39, 126	2, 793, 682	22, 856	2, 816, 539	△546, 651	2, 269, 887

- (注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、グループファイナンス業務(貸金業)を含んでおります。
  - 2 セグメント利益の調整額 $\triangle$ 546,651千円には、セグメント間取引消去3,985千円、及び各報告セグメントに配分していない全社費用 $\triangle$ 550,637千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
  - 3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整しております。
- 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報 該当事項はありません。

## (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第2四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日) 該当事項はありません。

## (7) 重要な後発事象

当第2四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)

当社ならびにグループ各社は、平成23年10月1日付で以下のとおりのグループ内再編を実施いたしました。

## 1. 再編の目的

平成23年4月実施の当社組織再編で、当社に事業別の本部を設置したことに合わせ、事業ごとに子会社を集約することにより、各事業の推進体制をさらに強化するとともに、経営管理を一層効率化し、当社と事業別子会社との緊密な連携のもと、権限・責任の明確化ならびにグループの経営判断の迅速化を図り、一層の収益、企業価値の向上を目指す。

## 2. 再編の概要

#### (1) 事業子会社の合併

	合併対象会社	新商号		
不動産事業	常和建物㈱(存続会社) 常和アセットマネジメント㈱、常和不動産㈱ 常和ビル開発㈱	常和不動産㈱		
ホテル事業	常和ホテルマネジメント㈱ (存続会社) 常和ホテルズ㈱	常和ホテル(株)		
ゴルフ事業	常和ゴルフ㈱(存続会社) 常和ゴルフマネジメント㈱	常和ゴルフマネジメント㈱		

## (2) 常和ビルサービス㈱(当社100%子会社)の孫会社化

同社を上記の(1)の常和不動産㈱の子会社(当社にとっては孫会社)としました。

## 3. 今後の見通し

当社100%子会社間の再編成であり、当社の連結業績に与える影響は軽微であります。